

広島市植物公園見どころ案内

とうじ 冬至 (バラ科) 日本庭園にある早咲きの白梅です。例年より2週間おくれで16日にやっと、最初の1輪が開花しました。開花期は長く、3月末まで花を見られます。

野生ラン (ラン科) 本園では約1500種の野生ランを栽培していますが、開花した株をここに展示しています。東南アジアや熱帯アメリカなどの珍しい野生ランの花を見ることができます。

フクシア・フルゲンス

(アカバナ科) 中央アメリカ原産です。実がなっていて良い香りがします。メキシコでは、食用として栽培され、実をジャムなどにするそうです。

ナガバビカクシダ

(ウラボシ科) ビカクとは大鹿の角のことです。角とキャベツの葉のような、形の違う2種類の葉をもつシダです。キャベツ葉は植木鉢の役割をします。

クンシラン

(ヒガンバナ科) 南アフリカ原産の原種の1種で、花がたれさがって咲くタイプです。バナナの手前に開花中です。

ピンクボール (ドンベヤ・フリキイ)

(アオギリ科) ピンクのくす玉みたいな花です。東アフリカとマダガスカル原産です。大温室正面入口を入って右手にあります。

タイリンヒメブツソウゲ (アオイ科)

花びらを閉じたままで、めしべだけ先から出すおもしろい花です。大温室正面入口を入ってすぐ上を見てください。ハイビスカスに似た赤い花です。

しろわびすけ 白侘助 (ツバキ科) わびすけ樺の白花です。ツバキ園一番下の段の奥に高さ3メートルほどの木があります。

ムクロジ (ムクロジ科) 葉が落ちて黄色に熟した実が高い枝に残っているのが見えます。かたい種は、はねつきの羽根の頭や数珠に使われます。果皮は水をつけてもむと泡が出て、せっけんの代わりになります。

シナマンサク (マンサク科) 中国原産のマンサクです。枯葉が枝についたまま花が咲きます。春にまず咲くと言われているマンサクの中でも一番に咲きました。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科) 中国原産の香りのよい花木です。芯まで黄色いところが、芯が赤いロウバイとのちがいです。

ヒイラギナンテン (メギ科)

中国原産の2種のヒイラギナンテンの交配によってつくられた園芸品種です。花の房が立ちあがって華やかなのが特徴です。

こうとうじ 紅冬至

ウメ園で最初に咲く早咲きの梅です。まだ数輪ですが、うす紅色の花が咲いています。早い春をさがしてみませんか。ウメ園の階段をずーっとあがったところにあります。目を皿のようにして見つけてください。

